

日本共産党参議院選挙で大躍進

小池晃さんの議席獲得を含め比例で5議席、東京・大阪・京都で3議席



カクサン部長
ネット選挙で
大活躍

はたの君枝さん44万5千票で惜敗

7月21日投票でおこなわれました参議院選挙で、日本共産党は比例5議席を獲得するとともに、東京、京都、大阪での選挙区で議席を奪還し、改選3議席から8議席へと大きく躍進することができました。

神奈川選挙区では、はたの君枝候補が前回の30万4千票を大きく上回る44万5千票を獲得しましたが、わずかに及ばず議席を獲得することはできませんでした。

公約実現に全力を尽くします

議席の上では自民党が圧勝したとは言え、安倍首相は、「アベノミクス」を自慢するだけで、消費税増税も、原発再稼働も、憲法9条改定も、TPPも、ほとんど話しませんでした。国民は白紙委任したわけではありません。国民多数の声と自民党の「ねじれ」はいよいよ深刻になるばかりです。

日本共産党は、躍進した力を発揮して選挙で訴えた公約実現に全力を尽くします。今後ともご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



あいさつする小池晃参院議員（中央）、はたの君枝さん
はたの君枝さんの得票と選挙区の全国集計

	今回（2013年）		前回（2010年）		前々回（2007年）	
	得票数	率	得票数	率	得票数	率
神奈川県	444,955	11.3	304,059	7.8	385,619	9.7
横須賀市	17,108	9.6	12,301	6.5	16,934	8.8
全国計	5,645,937	10.6	4,256,400	7.3	5,164,572	8.7

日本共産党 比例区の得票数、得票率の推移

	今回（2013年）		2012年衆院選		2010年参院選		2007年参院選	
	得票数	率	得票数	率	得票数	率	得票数	率
全国計	5,154,055	9.7	3,689,159	6.1	3,563,557	6.1	4,407,933	7.5
神奈川県	400,561	10.2	260,109	6.0	242,193	6.1	321,459	8.1
横須賀市	14,970	8.4	11,353	5.4	9,933	5.2	14,068	7.3

横須賀市における比例区の党派別得票数、得票率の推移

	所属政党	2013年7月		2012年衆院選		2010年参院選		2007年参院選	
		得票数	率	得票数	率	得票数	率	得票数	率
1	自民党	77,619	43.4	82,237	39.3	60,875	31.7	68,977	35.9
2	みんなの党	17,619	10.0	19,865	9.5	28,973	15.1		
3	公明党	23,428	13.1	25,482	12.2	27,996	14.6	62,735	32.6
4	民主党	20,434	11.4	24,623	11.8	44,636	23.2	27,685	14.4
5	日本共産党	14,970	8.4	11,353	5.4	9,933	5.2	14,068	7.3
6	日本維新の会	14,662	8.2	32,656	15.6				
7	みどりの風	1,779	1.0						
8	社民党	3,484	2.0	3,820	1.8	7,021	3.7	7,773	4.0
	市合計	178,997		209,157		192,157		192,291	

横須賀市における選挙区の党派別得票数、得票率の推移

	所属政党	2013年7月			2010年7月			2007年7月		
		候補者名	得票数	率	候補者名	得票数	率	候補者名	得票数	率
1	自民党	島村大	65,601	36.7	小泉あきお	77,573	41.1	小林ゆたか	68,963	35.7
2	みんなの党	松沢しげふみ	26,141	14.6	中西けんじ	30,093	15.9			
3	公明党	佐々木さやか	33,539	18.7				松あきら	39,935	20.7
4	民主党	牧山ひろえ	19,054	10.7	金子・千葉	52,875	28.0	牧山・水戸	68,204	35.3
5	日本共産党	はたの君枝	17,108	9.6	はたの君枝	12,301	6.5	はたの君枝	16,934	8.8
6	日本維新の会	水戸まさし	8,549	4.8						
7	みどりの風	つゆき順一	2,810	1.6						
8	社民党	木村えい子	2,761	1.5	木村えい子	4,155	2.2	和田しげる	6,259	3.2
	市合計		178,889			188,858			193,363	

横須賀市長選挙

岸まきこさん、市民要求をかかげ健闘

6月30日投票でおこなわれた市長選挙で、「幸せ度No.1のよこすか」をみんなで作る会の岸まきこさんは、原子力空母問題を中心に子育て支援など市民の切実な要求をかかげ堂々とたたかいました。

当選には至りませんでしたでしたが、岸まきこさんの主張した政策は市政に大きな影響を与えています。

市長選挙結果

岸まきこ	8,121
吉田雄人	8,718
広川さとみ	7,961

市民の願いを市政に届け、住みよい横須賀を

日本共産党市議団の第2回定例会 議会報告

中学校でなぜ給食がないの？

中学校の完全給食はどこでも100%に近い実施状況ですが、横須賀市は実施していません。神奈川県の実施率は24.9%と異常に低いですが、徐々に増えています。三浦市でも実施しています。



市内の小学校での給食
市内の小学校での給食

大村洋子議員は、一般質問で中学校完全給食の実施を強く迫りましたが、市長は空調設備設置や耐震補強などを重視してきたなどと言いついに終始し、学校給食については弁当注文方式を続けるという姿勢でした。しかし、



住重が造船部門から撤退！？ 先手を打つ市長の対応を求める

5月10日の日刊工業新聞に「住重、造船から撤退検討」。また、日経新聞にも社長発言として「2014年3月期中には事業の方向性を見直したい」と報道されました。



横須賀には約2000人の従業員が働いており、船舶事業に関連する従業員は約440人。決まってからでは何もできません。

井坂しんや議員は、いま市として積極的に動くよう市長の対応を求めました。

とりわけ、横須賀市は2008年から2012年までの5年間に、拡大再投資奨励金とし

井坂しんや議員

原子力艦の防災対策に関して

ねぎしかずこ議員は、福島原発の事故を受けての原子力軍艦の防災計画改定について質問しました。

市長は4月16日、地域防災計画改訂に当たり原子力艦について「政府の考え方を示すよう」外務省に要請しましたが、自らの考えは何ら示していませんでした。

この問題は他の施策を優先してきたから仕方ないでは済まされる問題ではありません。その後おこなわれた市長選挙で中学校給食問題が大きな争点となりました。

市議会は全会一致で「積極的な検討を求める」意見

6月10日の教育福祉常任委員会での中学校完全給食を求める請願審査の中で、井坂しんや議員は昨年からの中学校給食を始めた相模原市のデリバリー方式や自校方式、親子方式などの試算を求め、教育委員会として検討することになりました。

また、常任委員会では、請願は不採択になりましたが、「中学校における完全給食の実施形態に関して積極的な検討を行うこと」という意見が全会一致で決まりました。

これは、いままで市が検討しないとしていたことに対する重要な意見であり、実現に向けてがんばりたいと思います。



て2億7347万5100円の奨励金を交付しており、企業任せで済ますことはできません。

環境保全に逆行する 売却優先の姿勢に問題あり

市が売却した土地の開発で周辺住民から不安の声

福岡県の業者に売却した市有地（民生寮跡地）の開発をめぐって地元住民と紛争に発展しそうな状況になっています。

この土地は5000㎡以上ありますが、進入路などの関係から開発に不向きな土地でした。抜け道としてミニ開発の連続が懸念されていました。市はそれを承知で土地を売却しており、実質的に抜け道開発を誘導したことになります。市の責任は

ねぎしかずこ議員は、市の自主的な姿勢を求めながら、福島原発の教訓を十分に活かした地域防災計画ができない場合にはすみやかに原子力艦の撤退を主張すべきと、市長に求めました。また、地域防災計画の改訂で、国が約束した「実務者会議」が先延ばしになっていることについて、市長は「懸念をしている」と答弁しましたが、主体的な姿勢は感じられませんでした。

極めて重いと言わなければなりません。

また、地元業者でないこともあり、土壌汚染対策など説明もなく、住民無視で開発がすすめられようとしています。遊休地だからと言って相手かまわず売るのは大問題です。

この土地については、井坂しんや議員は売却に反対し、緑地として保全するよう提案してきました。

米兵犯罪の根絶には、 「地位協定」の改定が必要

米兵による犯罪が後を絶ちません。米軍の対策は全く効果がありません。

井坂しんや議員は、米兵犯罪の根本問題として、不平等な日米地位協定があることを指摘し、改定が必要ではないかと市長の見解を求めました。市長は地位協定は不平等だと思っ



米軍基地へ抗議する ねぎし議員（右端）

ていないと驚くべき答弁をしました。

そこで、市長が神奈川県基地協議会の一員として政府に対し地位協定の改定を求めている事実を指摘すると、答弁不能。真剣さのないその場凌ぎの答弁であることがはっきりしました。

市は市民の良き相談相手である という姿勢を鮮明にすべき！

大村洋子議員は「広報よこすかに生活保護制度のお知らせを載せ、市民の良き相談相手であるという姿勢を示してほしい。」と訴えましたが、市長は「載せることは考えない。」と冷たい答えでした。

全国の福祉事務所では窓口で申請を受け付けない「水際作戦」が横行し、餓死や孤立死が後を絶ちません。横須賀ではこんなことがないようにこれからも目を光らせていきます。



大村 洋子議員